

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	利用者の要介護度が上がってきており、事故や体調変化が急に起こることが考えられる。急変時や事故発生時に職員は慌てず適切な対応ができるか。	利用者それぞれの個別のアセスメントが細かく行われ、その時々危険予測を個別に想定し、一人ひとりの急変時や事故発生時の対応を職員間で想定し訓練できるようになる。	利用者の日々の生活を職員一人ひとりがそれぞれ観察、見守りし、またマニュアルの訓練を日常的に行っていく。個別のアセスメントを職員全員で共有し、ヒヤリハットや事故等の発生時の対策を皆で考え、日常の生活で危険予測できる時の見守りを強化し、事故やヒヤリハット事例を減らしていく。	12ヶ月
2	10	開設から8年目を迎えており、利用者や家族からの要望等も変化してきている。その時々細かい要望や希望に応えていく事が望まれる。	利用者とその家族に対して、より良い対応を心掛け、サービスに対する満足度を高める。	利用者と個々に話をした介護相談員や地域ボランティア、民生委員さん等外部の方々の意見を聞く機会を日常的に多く持つようにし、その意見を伺い、よりよい対応が出来るようにしていく。家族と話す機会を積極的に持つようにし、その内容が職員に周知していくようにし、応えられる要望には即座に対応できるよう心がけていく。	12ヶ月
3		インフルエンザやノロウイルスなどの感染症が流行している。	各種感染症の予防と対策を図る。	利用者、職員、家族は外出後、調理前、食前、排泄後、出勤時、訪問時の手洗い・うがい・手指消毒を徹底して予防していく。早期のワクチン接種と人ごみの多い場所でのマスク着用、また感染症が発生してしまったときのマニュアルの活用で感染を最小限に食い止めていく。	3ヶ月
4	35	災害に備えて準備しておく。	火災、地震が起こった際の被害を軽減するために、事前予防及び事後対策を強化する。	防災管理者を中心に日頃の防火点検をしっかりと行っていく。地域の方々との避難訓練も含め年四回の実践的な避難訓練を行っていく。地震における家具等の転倒を防止する。災害時の備蓄等の管理も平行して行っていく。	12ヶ月
5		開設から年数を重ねており、利用者の要介護度も上がり、自立度が年々低下していく中、いかに利用者が自分で出来る事を続けていけるかが大きな課題である。	介護予防体操教室の参加頻度を高める。散歩の継続実施。ホーム内での利用者一人ひとりの出来る事、出来ない事のアセスメントを継続し、出来る事に関しての職員の日々の見守りや声掛けを続け、各々の自立を支援していく。	空いた時間を活用して、体操や生活リハビリ、機能訓練をしていく。散歩や買い物等外出活動を積極的にいき、皆さんに楽しんでいただきながら身体機能の維持、向上を目指していく。利用者のアセスメントに基づき、それぞれの得意な事、好きな事、出来る事を日々継続していくためのケアプランは何があるか職員全員で考え実践していく。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。